

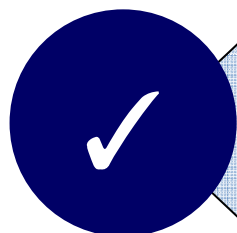
2011年3月期 上期取組と下期施策

代表取締役社長 社長執行役員
下牧 拓

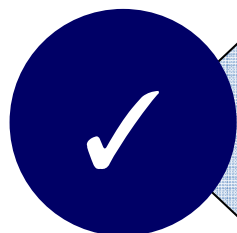
注) 文中の※印の用語については、24ページの用語解説をご参照下さい。

2011年～13年3月期 中期経営計画達成に向け

「成長軌道に乗せる年」

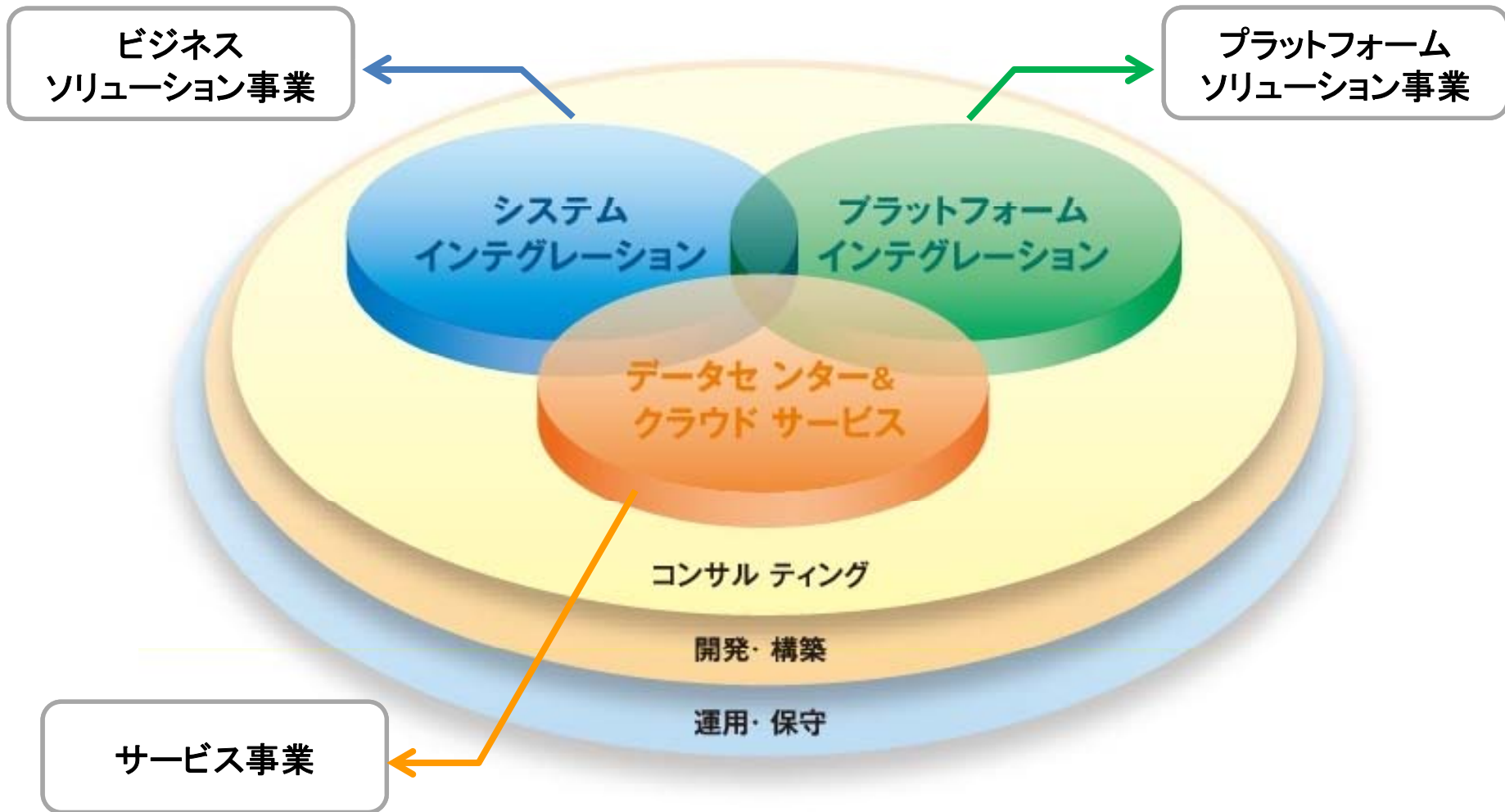


MKI グループが成長を描く為の足場を固める



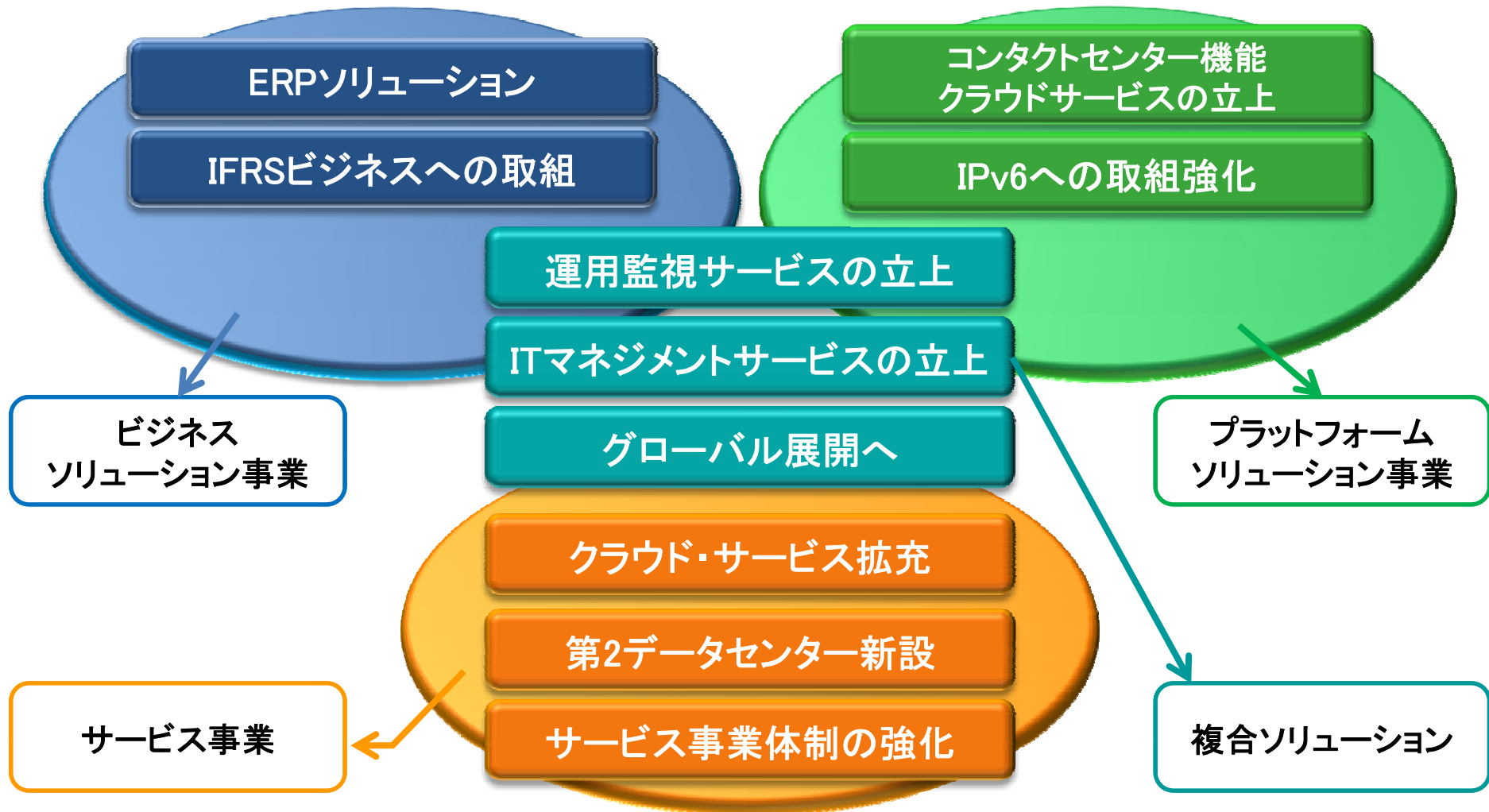
変革すべきものは徹底的に変革する

MKI の新たな事業体制



MKI の注力分野

事業領域拡大に向けた主な取組：2010年4月～



既存事業を徹底強化する

■ ERPソリューションの拡販

- ・SAPビジネスでの新規顧客開拓
- ・「Biz J」(株NTTデータビズインテグラル)でのSMB市場※1開拓

上期： 三井物産SAP案件の遂行
Biz J の拡販開始

下期： 三井物産SAP案件の完遂と、次期案件の獲得
パートナーとの協業強化による新規顧客開拓
Biz J の中堅企業向け本格展開

既存事業を徹底強化する

■ アカウントセールスの強化

- ・主要顧客に向けて、営業・技術が一体となった体制でアプローチ

上期： 地方を含む公共向け大型インフラ案件やコンタクトセンター案件の獲得
下期： 通信キャリア、パートナーとのリレーション強化による案件の獲得

■ 運用監視サービスの立ち上げ

- ・インフラからアプリケーションまで、統合的に運用監視するサービスの提供に向けた準備の加速

上期： 仮想化インフラの運用監視ツール販売開始
下期： アプリケーションの運用監視サービス開始
仮想化インフラの運用監視ツール拡販加速と、ツール拡張

新たなビジネススタイルを創出する

■ ベンダーからICTトータルマネジメントパートナーへ

- ・顧客の立場に立ったシステム企画・運用を提案、ベンダーからパートナーへ
- ・パートナーとしての機能を強化し、顧客との継続的な深い関係を構築

上期： ITマネジメントサービスセンター新設

下期： サービスの提供開始(三井物産)と、他社展開

■ 受託開発型ビジネスからサービス型ビジネスへ

- ・クラウドを中心としたサービス事業の拡大

上期： 新規サービス(CREマネジメント※2、エネマネ※3、サーバ仮想化)の拡販に注力
協業体制の強化(電算システム等)

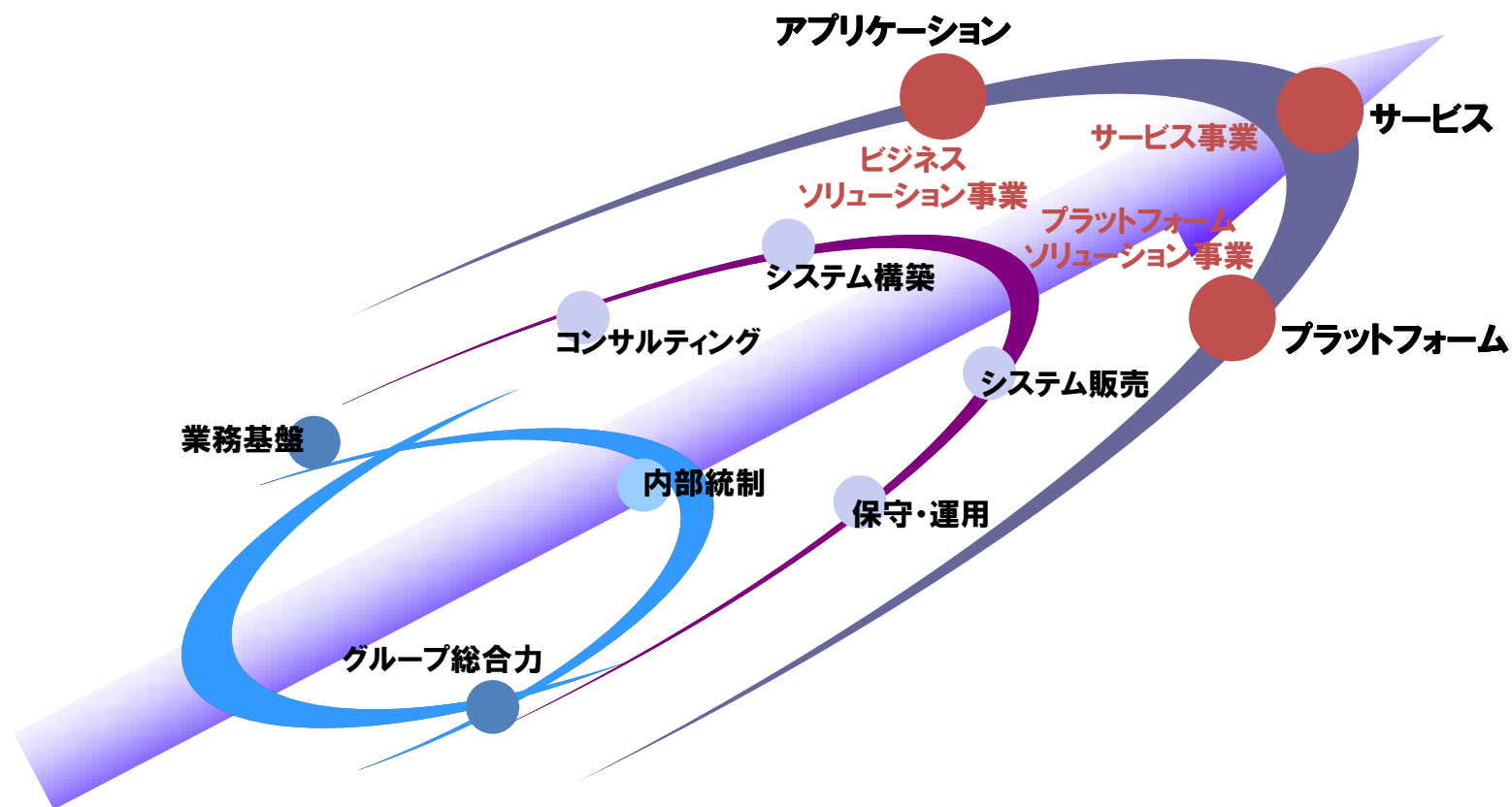
データセンター業の連結子会社を吸収合併して体制強化

下期： サービスメニューのラインナップ強化(コンタクトセンターASPサービス等)

第2データセンター(東京西データセンター)の稼働

MKI の目指す姿

経営戦略・業務基盤をICTで総合的に支える
「ICTトータルマネージメントパートナー」を目指します。



【ご参考】用語解説

※1 SMB市場（20ページ）

SMB (Small and Medium Business) 市場とは、中小規模の企業を対象とした市場のことです。大規模企業に向けたITビジネスが飽和状態となっている中、注目されています。

※2 CREマネジメント（22ページ）

CREとはCorporate Real Estateの略で、和訳すると「企業不動産」を意味します。CREマネジメントとは、企業が事業を営むにあたり所有・賃借する不動産を経営資源のひとつと捉え、戦略的に管理・活用し、企業価値の向上につなげていこうとする管理手法です。

※3 エネマネ（22ページ）

エネマネとはエネルギーマネジメントの略で、建物内で利用する電気やガスといったエネルギー使用量を測定・分析し、機器、設備等の運転管理を調節することでエネルギー消費の効率化やパフォーマンスの向上につなげていこうとする管理手法です。

【ご参考】主な広報リリース

| | 発表日 | 内 容 |
|---|------------|---|
| 1 | 2010年4月21日 | <p>企業財務分析システム「CASTER」とe-Taxデータの連携を実現して、金融機関と企業の業務効率化に貢献</p> <p>MKIと株式会社NTTデータは、多くの地方金融機関で利用されている「CASTER」(MKI提供)と、e-Tax(電子納税)データを金融機関に送付するシステム「Zaimon e-Taxデータ受付サービス」(NTTデータ提供)の相互接続を可能にいたしました。このシステム連携によって、金融機関や企業の業務効率化とペーパーレス化が可能となります。</p> |
| 2 | 2010年5月18日 | <p>MKIとティーガイア、法人向FMC分野の取り組み強化に向けて販売提携</p> <p>MKIと株式会社ティーガイアは、固定通信と移動通信の融合を図る「FMCソリューション」分野の強化を目的に、販売提携を行いました。MKIの法人向けIPテレフォニーシステムの構築ノウハウと、国内最大の携帯販売会社であるティーガイアの販売手法を組み合わせることで、通信コストの削減や業務効率化といった市場ニーズに応えてまいります。</p> |
| 3 | 2010年5月18日 | <p>「仮想化IT基盤」のホスティングサービス提供を開始</p> <p>MKIは、Windows Server 2008 R2の仮想化技術であるHyper-Vを活用した「仮想化IT基盤 M-Model」の提供を昨年11月より開始しておりますが、当社が所有するサーバをお客様に提供するサービス提供型のホスティングサービスを新たに開始いたしました。「M-Model」はラック単位で最適化された仮想化環境をご提供するため、必要な容量を必要な時間だけお客様にご利用頂く事が可能となります。</p> |

【ご参考】主な広報リリース

| | 発表日 | 内 容 |
|---|------------|--|
| 4 | 2010年7月14日 | <p>生体内脂質のハイスループット自動同定ソフトウェア「Lipid Search」 世界で初めて開発し販売を開始 ～脂質関連疾患の病因解明の鍵となる生体内脂質の研究を飛躍的に推進～</p> <p>MKIと東京大学は、生体内における脂質成分の分析を可能とするソフトウェア「Lipid Search」を共同開発いたしました。今回の技術開発により、核酸や蛋白質だけでは説明できない複雑な生命現象の解明や、メタボリックシンドロームや動脈硬化などの脂質関連疾患の病態解明、病態の進行度や生活改善の指標となるマーカー探索が飛躍的に加速すると期待されます。</p> |
| 5 | 2010年8月3日 | <p>データセンター事業の強化に向けて連結子会社を吸収合併</p> <p>MKIは、グループ内でデータセンター事業を営む連結子会社MKIネットワーク・ソリューションズ株式会社を、10月1日をもって吸収合併することにいたしました。クラウドサービス等の需要が高まる中、データセンター事業の重要性が増してきており、今後は同事業において機動的な意思決定を実現して事業を拡大してまいります。</p> |
| 6 | 2010年9月24日 | <p>三井情報と電算システム、クラウドサービス事業分野で協業</p> <p>MKIと株式会社電算システム(DSK)は、クラウドサービス事業の強化に向けて協業することにいたしました。DSKが当社の提供する仮想化IT基盤「M-Model」を導入して、都内(MKI)と岐阜県(DSK)でデータセンターの相互利用が可能となります。今後は、それぞれのクラウドサービスメニューの相互提供を行ってラインナップを拡充し、対応エリアの拡大とサービス強化を図ってまいります。</p> |

IRに関するお問い合わせ先

三井情報株式会社
経営企画部 コーポレート・マーケティング室
TEL: 03-6376-1008 / E-mail: ir@ml.mki.co.jp

- 本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であり、リスクや不確定な要因を含みます。
- 本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、また、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標です。
- 実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因があり得ます。
- 世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。
- 新たなリスクや不確定要因は随時生じる可能性があり、その発生や影響を予測することは不可能です。リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もあります。